water proof girl #09
by Manabu Koga
真縞しまりす
Shimarisu Mashima
(including Emiringo)
for Kindle

water proof girl #09

by Manabu Koga

photo and artworks: Manabu Koga
model: Shimarisu Mashima + Emiringo

swimsuit: REALISE (uevo.co.,ltd) / PredatorRat
makeup: Yuri Tashiro
crew: Tatsuya Nishimura, Tomomi Nakano, Takenori Saeki, Megumi Koga

water
proof
girl #09
by Manabu Koga

REALISE

REALISE

COCO

COCO
REALISE

REALISE

REALISE
COCO

REALISE

REALISE

REALISE

REALISE

REALISE.

COCO

TEMP GULL
COCO

COCO

COCO
REALISE

COCO
REALISE

COCO
REALISE

coco
REALISE

REALISE

REALISE

REALISE

REALISE

COCO

COCO
UV-CUT

COCO
GULL

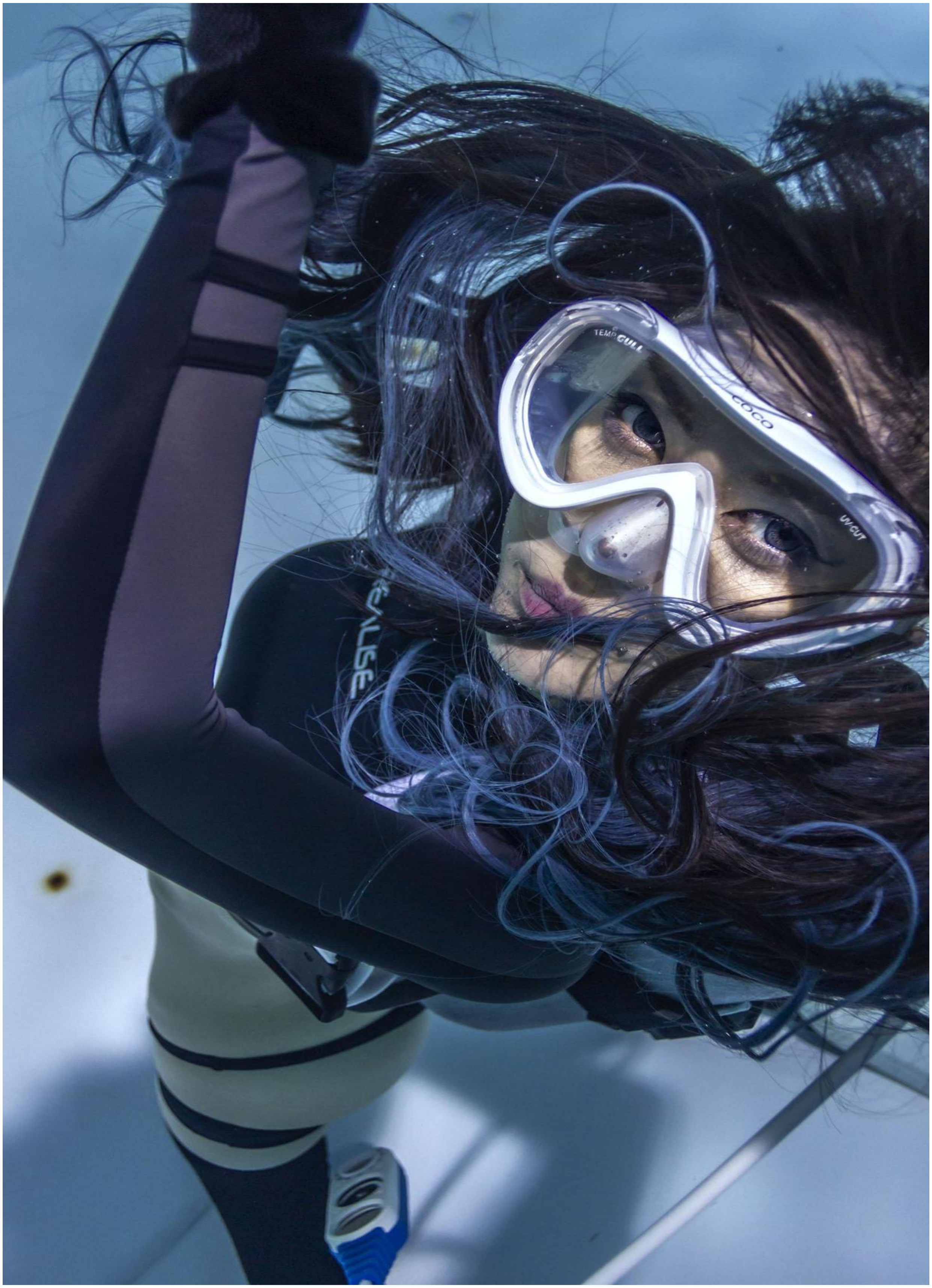
COCO

offshot: Tomomi Nakao

REALISE

GULL
COCO

REALISE


TEMP GULL
COCO
UV-CUT

COCO

TEMP
COCO
UV-CUT
REALISE

COCO
UV-CUT

COCO

GULL
COCO
UV-CUT

GULL
COCO
UV-CUT

GULL
COCO
UV-CUT

COCO
UV-CUT

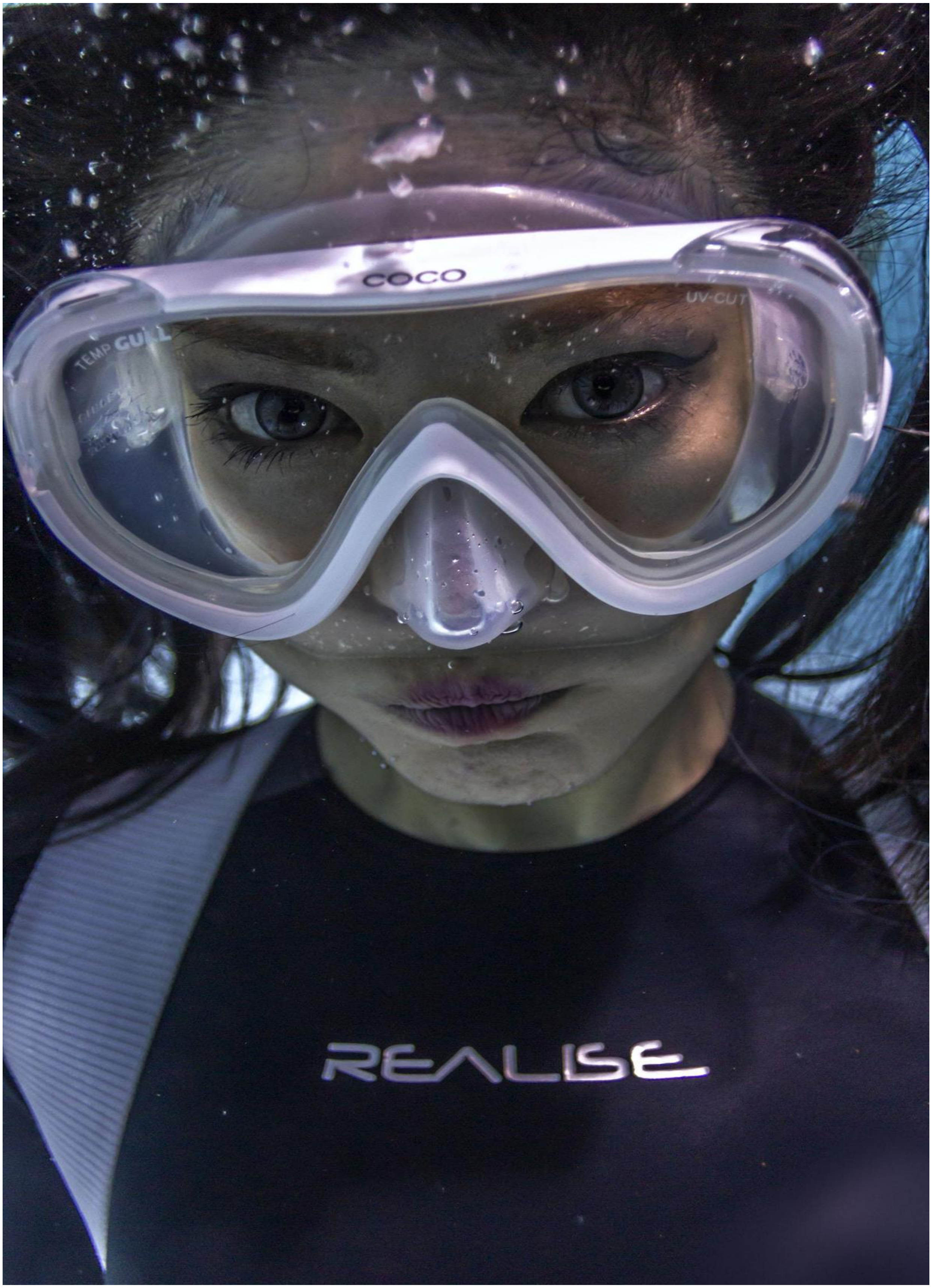
REALISE

REALISE

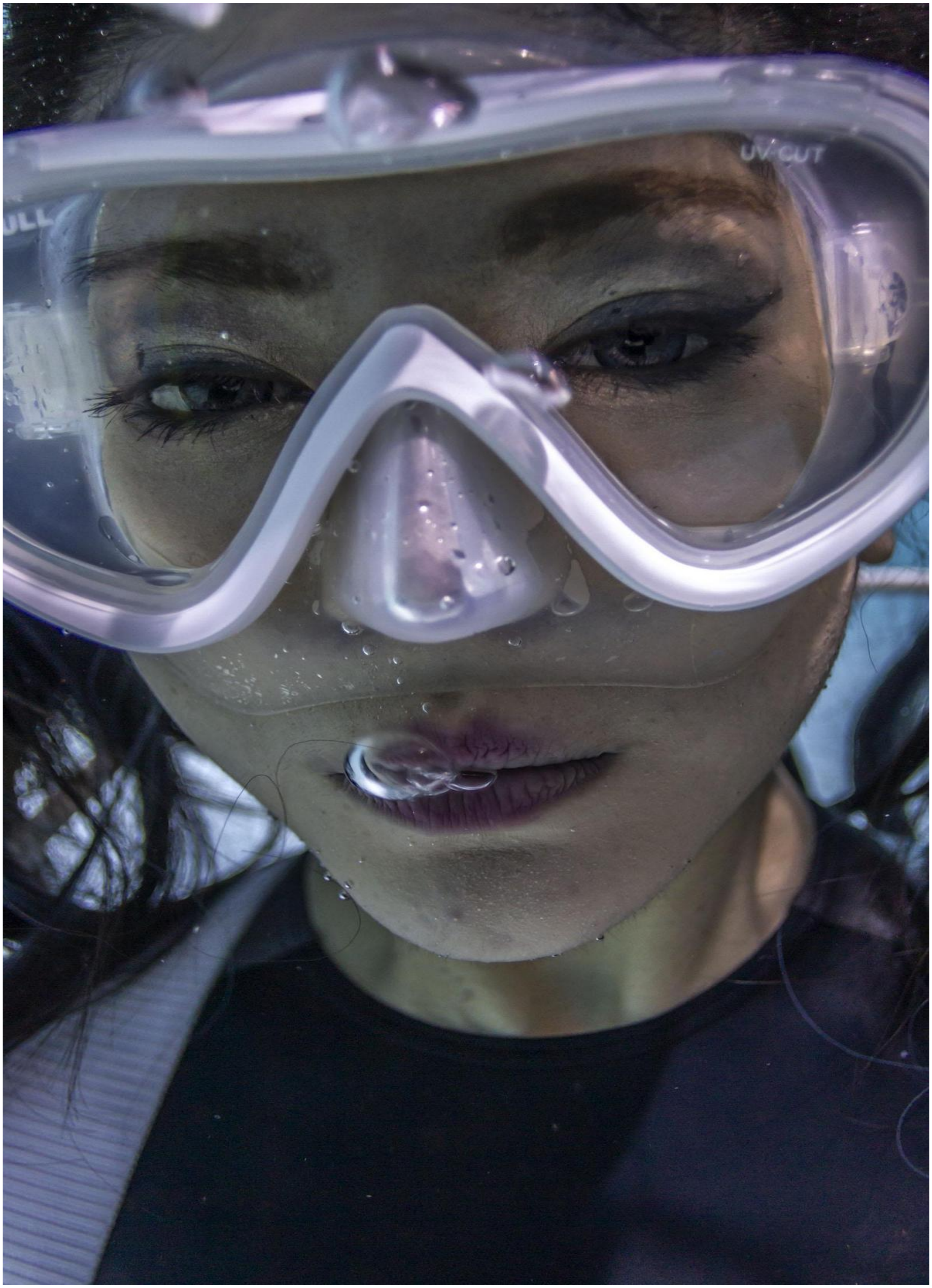
REALISE

COCO
REALISE

COCO
UV-CUT


COCO
UV-CUT
TEMP GULL
REALISE

COCO



COCO
TEMP.GULL
UV-CUT
REALISE

REALISE

COCO

COCO

COCO

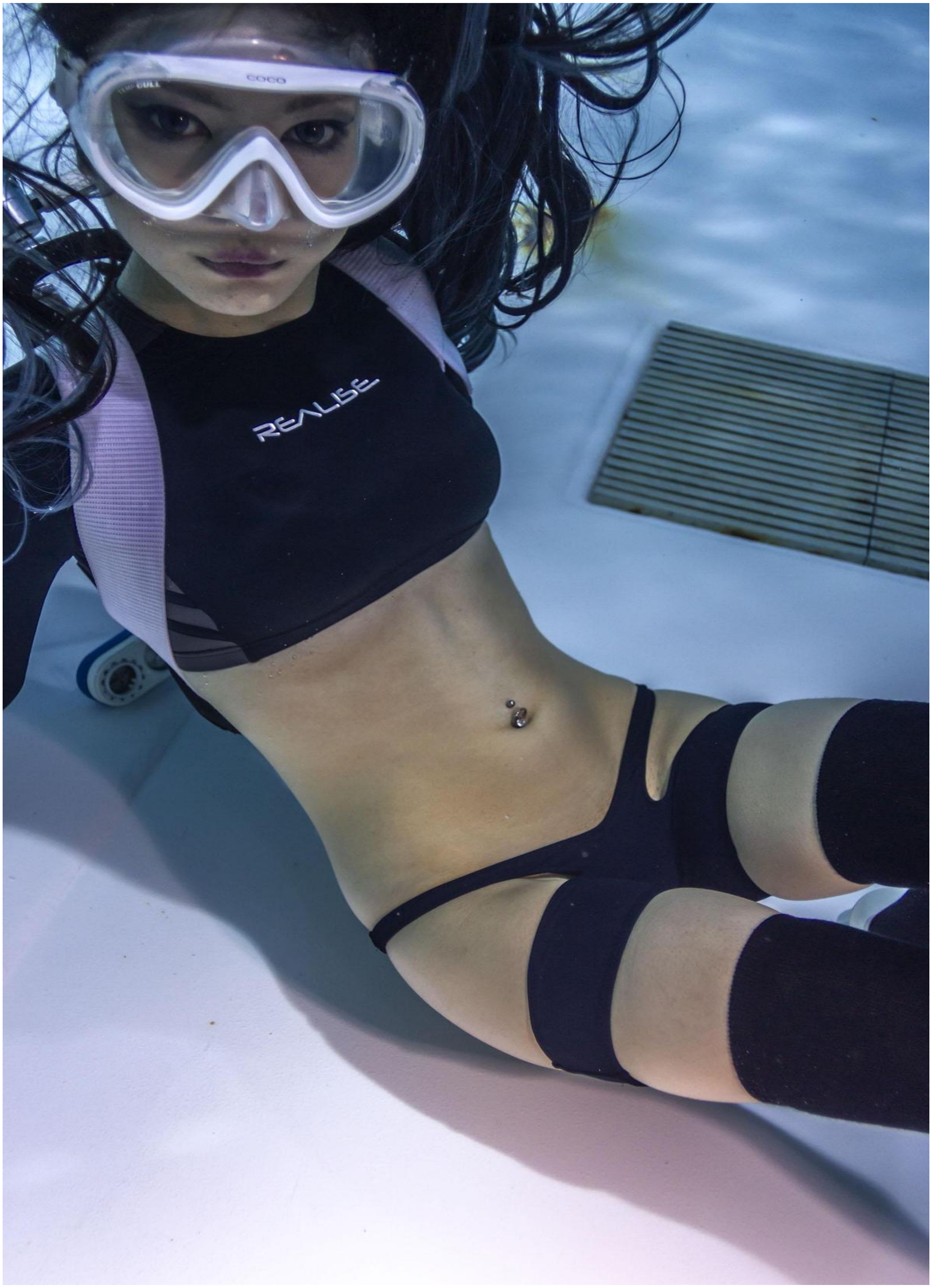
COCO

GULL
REALISE

GULL
COCO

COCO
GULL

COCO


REALISE

REALISE

COCO
REALISE

REALISE

offshot: Tomomi Nakao

REALISE
REALISE

GULL

GULL
GULL
MEW

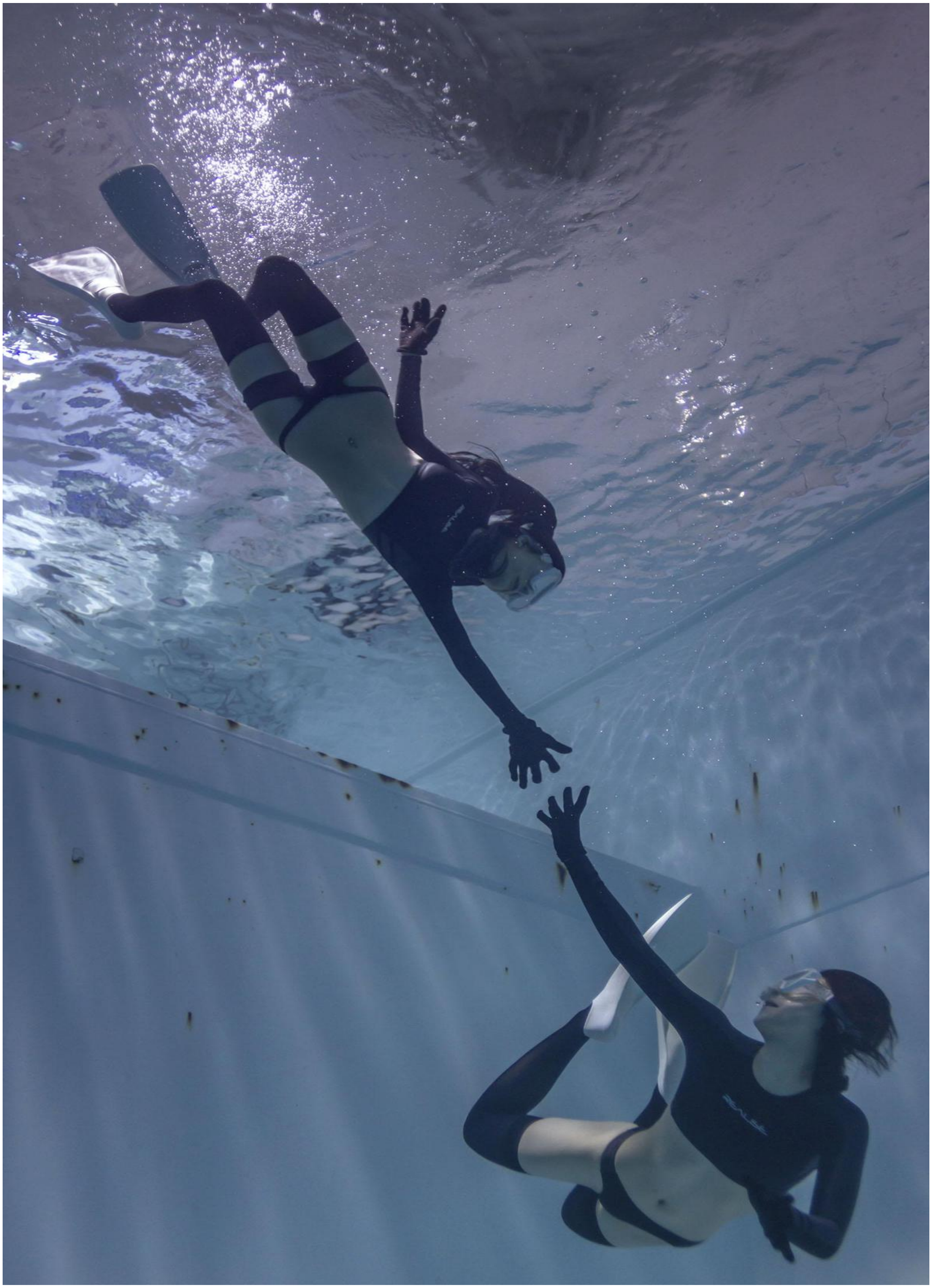
GULL

GULL
GULL

REALBE
REALBE

REALISE

REALISE



GULL
MEW

water proof girl #09

by Manabu Koga

まだまだつづきます >>>>

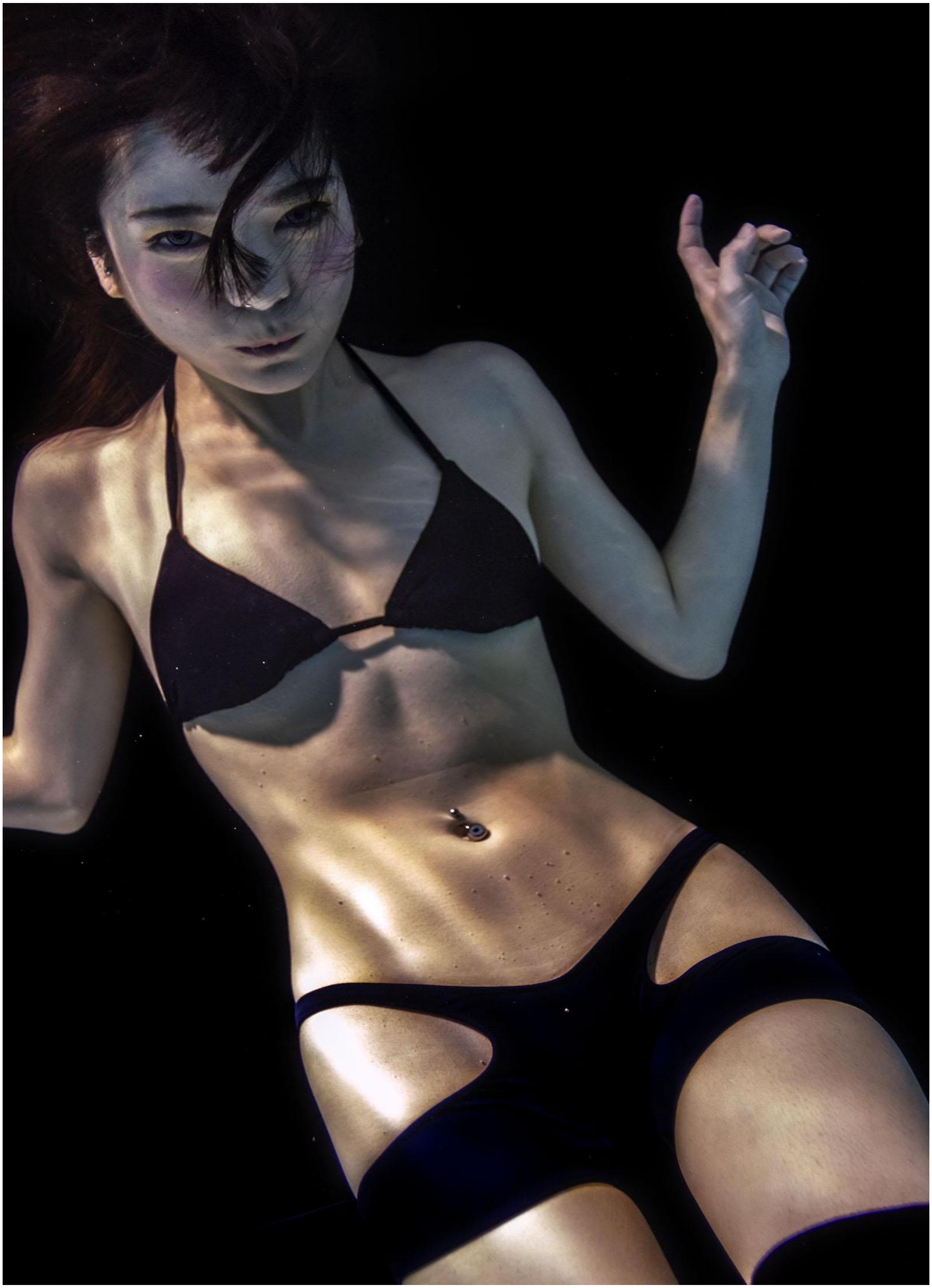
Kindle写真集「water proof girl #09」前半は紙媒体「月刊水中ニーソ」2016年3月号のために撮影されたRAWデータを元に、2020年1月現在の感覚で新たにセレクト・現像から再構成した作品集です。

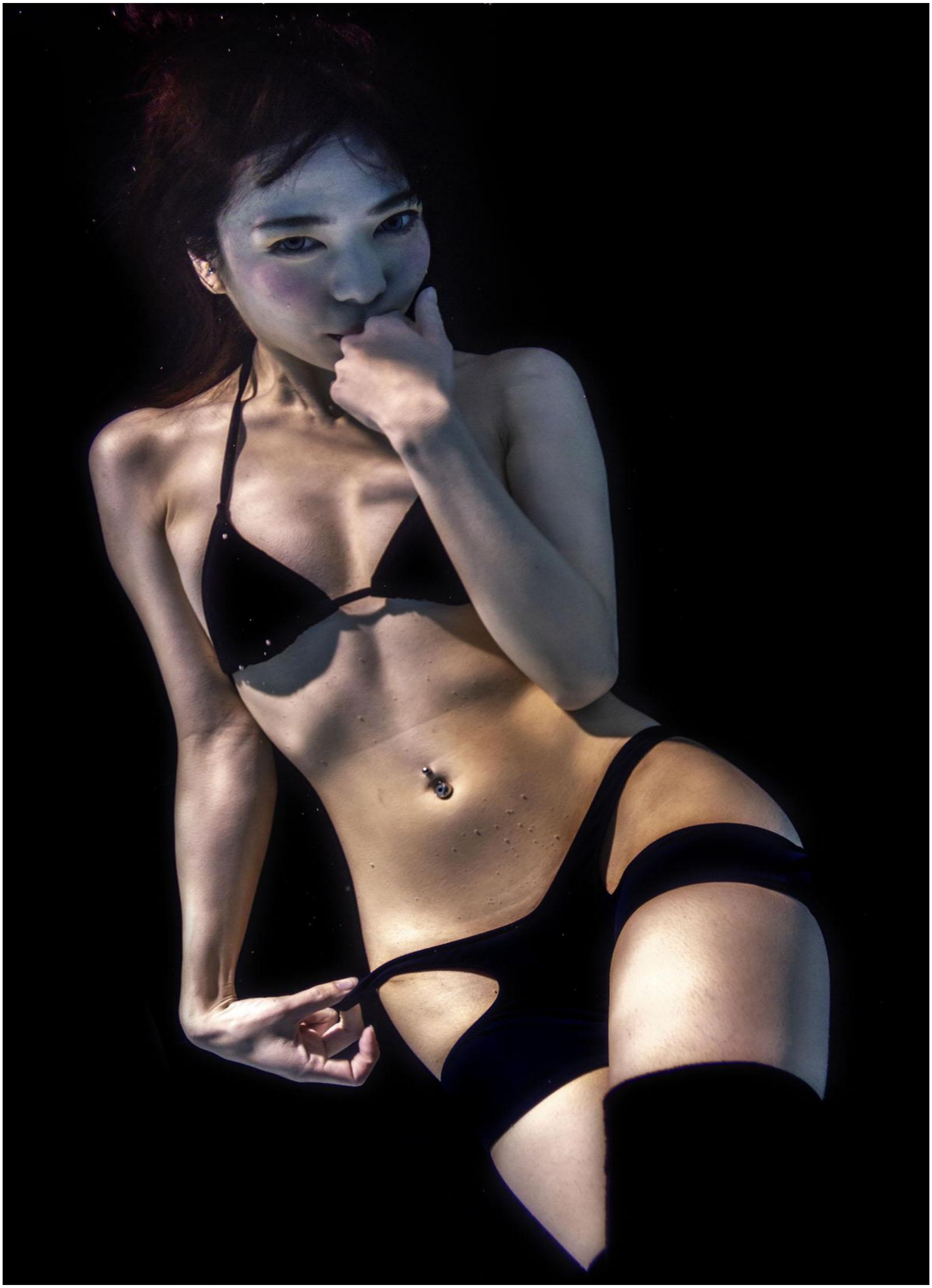
「月刊水中ニーソ 2016年3月号」

A5判／28ページ／中綴じ／希望小売価格：各1,000円+税

offshot: Tomomi Nakao

offshot: Tomomi Nakao





water proof girl #09

by Manabu Koga

おしまい！

宇宙と水中、重さ無き二つの世界が重なるとき
暗き深淵のリゾートで待つ形状の無いもの

テキスト(100年史編纂)：ワーゲン　モデル：真綿しまりす　特撮協力：中島 彰

100 YEARS OF UNDERWATER BEAUTIES
水中美女100年史

宇宙を遠く旅する船や宇宙にあるリゾートというのは、まだフィクションの範囲だが、現実の大型客船や海洋リゾートからそのまま構想されている場合も多い。そのせいかSF小説等では、無重力空間に浮かぶ大きな水球という形で観光用のプールが設定されていたりする。もちろん水着の魅力的な女性キャラクターを登場させる場という重要な意味もあるのだが……。

そんな想像上の無重力水中が、CG技術による特殊効果によって、劇映画の世界でも描けるようになった。最新の映像で宇宙の水中を表現している作品、それが今年公開の『パッセンジャー』(2017年公開)である。

メインとなるストーリーは、予期せぬ事故で冬眠状態から覚めて二人きりとなった男女のラブロマンスであり、宇宙を旅する豪華客船という舞台を堪能できる作品でもある。その舞台となる宇宙船では、様々な娯楽設備とならんでプールが登場し、ヒロインであるオーロラ役のジェニファー・ローレンスが宇宙的？な水着姿を披露してくれる。しかもこの作品での水中は、単なる水着を披露する舞台に留まらず、無重力状態になったときの水の脅威も描いているのである。宇宙船内のプールとはいえ、普段はシステム上重力が発生しており（船の外観の描写からすると居住ブロックの回転による遠心力利用）、その重力が切れたらどうなるという状況を特殊効果で描いている。普段ならプールという枠に収まっているはずの水が、巨大な水塊と化してヒロインを襲う。無重力の水中といっても、そこで泳げなくなるわけではないが、もし大質量の水がぶつかってきたら人間にはなすすべないであろう。ジェニファー演じるオーロラは、必死になって水から抜け出そうともがくが、猛り狂う水中から抜け出せないまま翻弄されてしまう。

シチュエーションとしては事故だが、ビジュアル上では、まるで不定形の怪物が水着美女を襲っているように描かれているのが特徴なのである。ひとつの映画作品としてみると、SF設定面として、あるいはシステム運用面からみて、ツッコミどころ多数の本作ではあるが、豪華客船による宇宙の旅を、美女の水中シーンと共に堪能できる作品である。

液体が無重力で怪物と化すというシチュエーションは、他にもTVアニメシリーズ『プラネテス』(2003年放映／原作：幸村誠)の第8話で、温度が上昇すると液状化するデブリの回収シーンなどでも描かれている。

▶まるで大宇宙に君臨する覇王といった威厳をもつ、モデルのしまりす嬢。手の中の水球で弄ばされるのもご本人。圧倒的な存在感溢れるカッコ良さと、カワイイ振る舞いが同居しているのが魅力である。SFにしろ現実の宇宙開発にしろ「無重力状態」という言葉が広まっているが、厳密には、重力が様々な要因で打ち消しあって、重さが無いように感じられる状態ということで「無重量状態」という事になる。地球上にある水中も、重力と浮力が打ち消しあうので無重量（に近い状態）になるのだ。

31

Kindle写真集「water proof girl #09」後半は紙媒体「月刊水中ニーソR」2017年6月号のために撮影されたRAWデータを元に、2020年1月現在の感覚で新たにセレクト・現像から再構成した作品集です。

「月刊水中ニーソR 2017年6月号」　A5判／32ページ／中綴じ／希望小売価格：各1,000円＋税